



クリンクルセンター

21世紀は、環境の世紀といわれています。今日、大量生産、大量消費、大量廃棄といった経済社会のシステムを問い直し、この地球からいただいた資源を効率良く利用し、廃棄物を再利用や再資源化する『資源循環型社会』への転換を図ることが求められています。

この『資源循環型社会』への転換に向けて、私たちが日常生活の中でできる、最も身近なごみの減量とリサイクルをもう一度確認してみましょう。

特集

資源循環型社会を目指して

ごみの減量とリサイクルから資源循環型社会が見える

私たちは、未来に生きる子どもたちに、この美しい地球を引き継いでいかなければなりません。

このためには、資源を大切にし、環境への負荷の少ない『資源循環型社会』へ転換を図ることが必要です。

ごみ問題は、私たちにとって最も身近な環境問題です。これまでのようにごみを燃やしたり、埋めるといった考え方を改め、リサイクルし、資源として最利用することで、環境への負荷を少なくすることができます。

この『資源循環型社会』への転換に向けて、私たち一人ひとりが日常生活の中で、身近にできることは何でしょうか。初めに、その取り組みの基本を確認しましょう。

- ひとつに、何よりもごみを出さないようにすることです。このことを逆に言い換えると、ごみになるようなものは家に持ち込まないようにすること。ものを大切に使い、ごみにしないよう努めることです。
- ふたつめに、ごみを単に排出するのではなく、出来るだけ資源として再利用することです。
- 最後に、どうしても再利用できないごみは正しく分別し、排出することです。

暮らしの中のごみの減量とリサイクル

私たちの生活の中で、どうしても出

してしまうごみ。でも、一人ひとりの努力が大切です。ごみの量を減らすことができるはず。身近なところからできるごみの減量とリサイクルをもう一度考えてみましょう。

ごみを減量するための心がけ

- 買い物をするときには
 - 無駄のない計画的な買い物をしましょう。
 - リサイクルが容易な商品を購入するように努めましょう。
 - 環境にやさしいエコマークやグリーンマークのついたリサイクル商品を購入するように努めましょう。



▲エコマーク



▲グリーンマーク

- 洗剤や調味料、ボールペンなどは、詰め替えのきく商品を選ぶようにし、使い捨てのものは買わないようにしましょう。
 - 買い物袋を持参し、ごみとなるような紙袋やポリエチレンのレジ袋などは家に持ち込まないように努めましょう。
 - 発泡スチロールのトレーなどにパックされた食品ではなく、ばら売りされた食品を買うようにして、ごみとなるようなものを家に持ち込まないようにしましょう。
 - 過剰包装は断るようしましょう。
- ものを使用するときは